

とき、万役山事件をきっかけに本藩と争ったことから、正徳6年（1716年）に幕府の命令で藩が取りつぶされることになった。幸い、家臣や領民の献身的な運動により3年後に藩の再興が認められ、改めて城下の整備が進められた。藩主の館は現在の文化会館辺りにあり、桜馬場より北には家臣団の屋敷が建てられた。現在の銀座付近を中心に町が栄え、街道には多くの人々が行き交い、新田の開発や和紙など特産品の生産によって産業が発展するとともに、藩校「鳴鳳館」が設けられるなど、教育活動も盛んであった。

〔奈古屋蔵人（なごやくらんど）屋敷跡〕

徳山藩の家老・奈古屋蔵人の屋敷跡。宝暦8年（1758年）16歳のとき父の跡を受けつぎ、30年余にわたり、毛利広寛（ひろとも）、就馴（なりよし）の2人の藩主に仕えた。その間、江戸の藩邸につとめること8度、本藩にも度々出向くなど藩の発展に尽くし、特に藩校「鳴鳳館」の創設に尽力した。



2) 文化的資源

〔徳山動物園〕

旧徳山市の市制25周年にあたる昭和35年3月20日に開園した市立動物園。山口県内では唯一の本格的な動物園で、約50,000平方メートルの敷地内に109種565点（令和元年10月末時点）の動物を飼育しており、毎年市内外から30万人程度の来園者がある。敷地一帯は、徳山藩主毛利氏の屋敷があった場所で、園内は、毛利氏ゆかりの史跡があり、桜の名所としても有名である。

平成25年9月には、スリランカ国と日本の国交樹立60周年を記念して、スリランカの国立動物園より2頭のスリランカゾウが寄贈された。

現在10年超をかけて施設のリニューアルが進行中で、平成28年に周南の里ふれあいゾーン（愛称：るんちゃ♪るんちゃ）、平成29年に自然学習館（愛称：ねいちゃる）・野鳥観察所、平成30年にペンギンプール・噴水広場が完成している。

〔文化会館〕

徳山藩の館跡地に建てられた、1,800人収容の大ホールを有する市立の文化会館。優れた芸術の鑑賞や各種の文化活動の拠点として、コンサート、講演会、展示会、会議などに利用されている。天井や壁の全面をシルバーチェリー（南洋桜）で覆った大ホールの音響効果は高い評価を得ていて、西日本を代表する文化ホールとなっている。

〔美術博物館〕

市立の美術博物館。周南出身で日本を代表する写真家・林忠彦の作品を中心とした記念室、周南市出身の詩人まど・みちおの絵画や詩を紹介するコーナー、歴史展示室を設置しているとともに、様々な企画展も開催しており、幅広い年齢層に人気がある。



3) 景観資源

〔御幸通・岐山通〕

J R徳山駅前から北に延びる御幸通・岐山通は、戦後の戦災復興土地区画整理事業により整備された、本市のシンボルロードである。御幸通は、50メートルの広幅員道路で、“市の木”であるクスノキやヒマラヤスギ、イチヨウの並木が美しい通りであり、冬には「周南冬のツリーまつり」が開催される。県道下松新南陽線以北は、岐山通と名称を変え、文化会館や美術博物館等が立地する文化拠点に至っている。

〔桜並木（市道德山港線～東川緑地公園）〕

文化会館・美術博物館から徳山小学校、東川沿いに至る桜並木道。沿道にソメイヨシノが植樹され、春には桜のトンネルを見るために大勢の人でにぎわう。

〔徳山湾〕

瀬戸内海の穏やかな天然の良港である徳山湾では、湾岸部に広がるコンビナート群、仙島や黒髪島、大津島の島なみ、大小様々な船舶の行き交う風景などを楽しむことができる。晴海親水公園から眺める工場夜景は、平成23年に日本夜景遺産に認定され、本市ならではの新たな景観資源となっており、工場夜景クルーズの開催等、この夜景を観光資源として活用した取組が始まっている。



4) 社会資本

〔ＪＲ徳山駅〕

徳山駅は、在来線の山陽本線と山陽新幹線の接続駅であり、櫛ヶ浜駅から分岐する岩徳線の列車も乗り入れ、広域交通と地域内交通の交通結節点となっている。

昭和４４年に民衆駅として完成し、営業を開始した。その後、市民の要望により在来線駅と新幹線駅との併設になり、在来線は２面３線の地平ホーム、山陽新幹線は２面２線の高架ホームとなっている。平成１５年以降は、新幹線「のぞみ」の停車駅となっている。平成２６年、南北自由通路の整備に合わせ、橋上駅舎となった。

また、新幹線７番ホーム（下り）の壁はほぼ全面がガラス張りとなっていて、隣接する瀬戸内海、徳山港への眺望に配慮されている。

〔徳山下松港〕

徳山下松港は、山口県周南市・下松市・光市にわたる港湾である。港湾管理者は山口県で、国際拠点港湾に指定されている。瀬戸内工業地域の一角である周南コンビナートや周辺の工場群と各地を結ぶ拠点港湾として機能している。平成１５年４月に総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に指定され、海上静脈物流とリサイクル産業の拠点形成に向けた取組が進められているほか、平成２３年５月には国際バルク戦略港湾に選定され、石炭の輸入拠点としての整備が進められている。

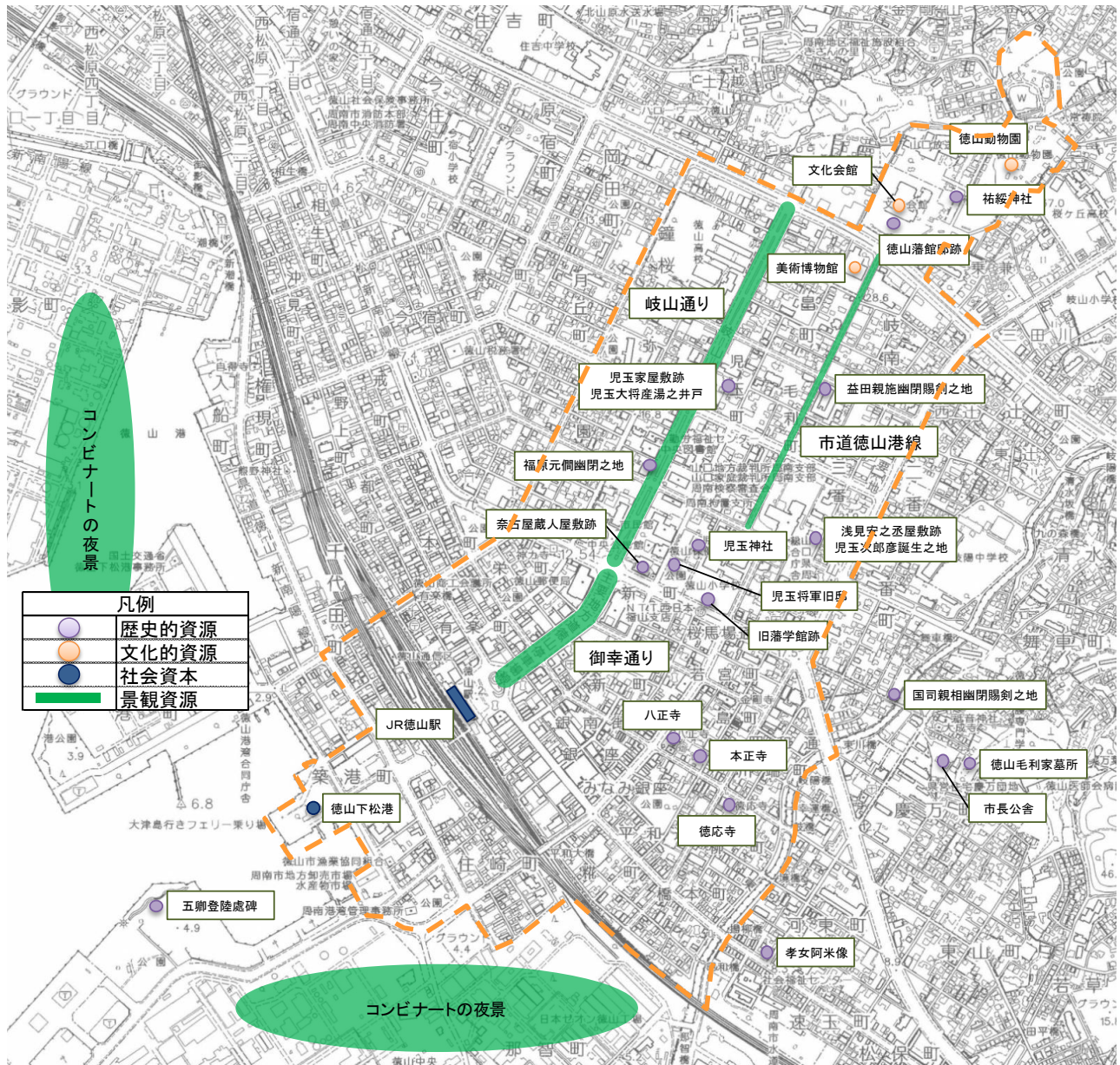
平成２３年６月には、本市が地域再生計画「周南市産業活性化計画」の認定を受け、港湾機能の強化等に関する取組を促進・支援している。

徳山下松港からは、大分県国東市竹田津港へのフェリー（周防灘フェリー）が発着するほか、大津島への離島航路（大津島巡航）が運行されている。令和２年の完成を目指し、徳山ポートビルの建替えを中心とした徳山下松港フェリーターミナル再編整備事業が、山口県により進められている。

平成３０年には港及び周辺が「みなとオアシス徳山」として国土交通省港湾局に登録された。



<中心市街地周辺の主な地域資源>

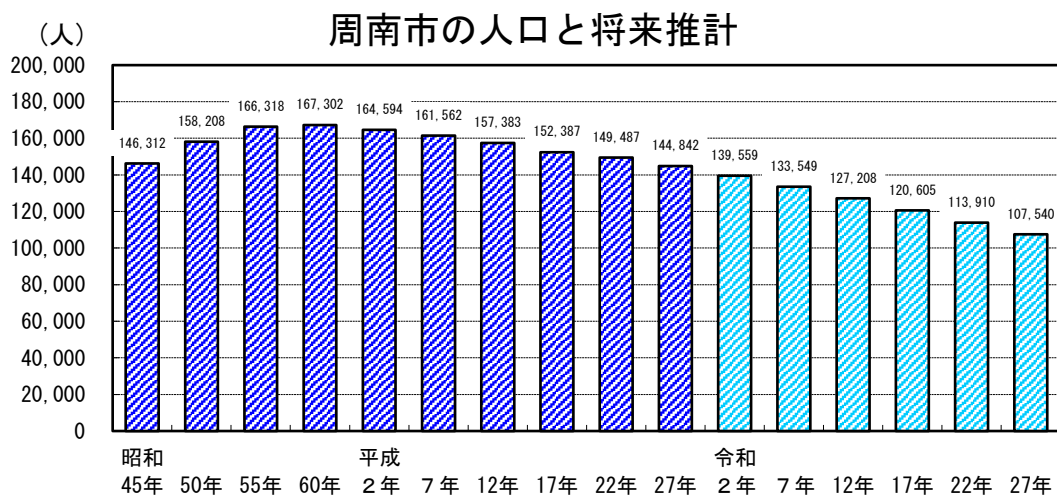


(3) 中心市街地の人口等

1) 市全体の人口・世帯数

本市の人口は、昭和60年の167,302人をピークに年々減少し、平成27年には144,842人となっている。今後、少子高齢化の影響によってさらに人口減少が進むことが予測され、10年後の令和7年には133,549人（平成27年比92.2%）、20年後の令和27年には120,605人（平成27年比83.3%）になると推計されている。この増減比率を、全国市部平均の将来推計と比べてみると、全国市部平均よりも減少度合は大きくなっており、人口減少が比較的早く深刻化すると推測される。

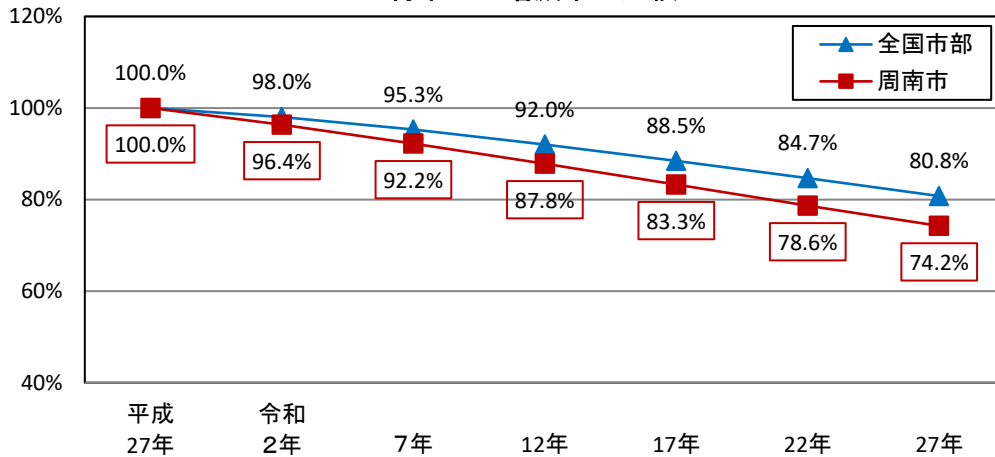
また、本市の世帯数は、平成30年には68,147世帯となり、微増傾向にあるものの、世帯当り人員は2.11人／世帯と減少傾向にある。将来的には、人口減少とともに世帯数も減少傾向に転化するものと予測される。



年度	実績値									
	昭和45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年	27年
人口	146,312	158,208	166,318	167,302	164,594	161,562	157,383	152,387	149,487	144,842
年度	推計値									
	令和2年	7年	12年	17年	22年	27年				
人口	139,559	133,549	127,208	120,605	113,910	107,540				

資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

将来人口増減率の比較



		平成27年	令和2年	7年	12年	17年	22年	27年
人口(人)	周南市	144,842	139,559	133,549	127,208	120,605	113,910	107,540
	全国市部	77,839,796	76,302,463	74,162,427	71,649,503	68,870,367	65,902,725	62,870,523
増減比率(%)	周南市	100.0%	96.4%	92.2%	87.8%	83.3%	78.6%	74.2%
	全国市部	100.0%	98.0%	95.3%	92.0%	88.5%	84.7%	80.8%

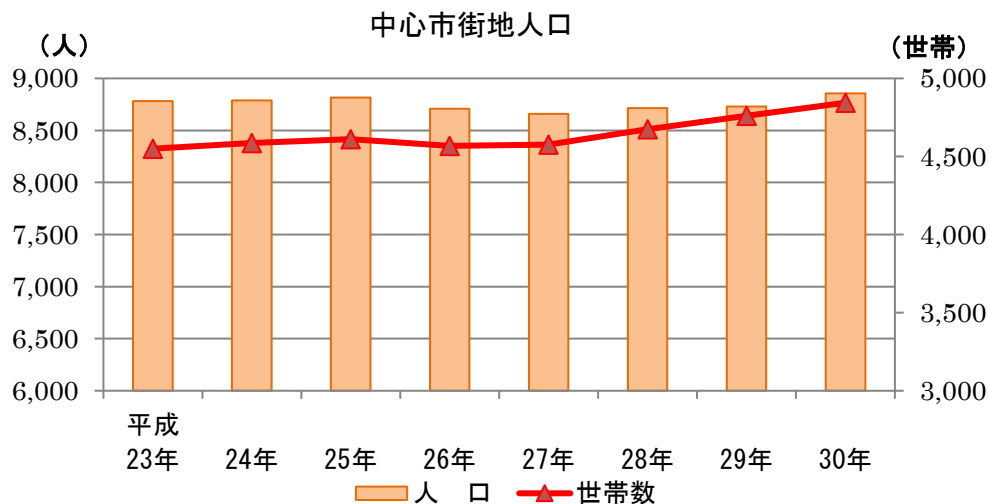
※全国市部は、政令指定都市(平成30年時点)を除いている。

資料: 国立社会保障・人口問題研究所

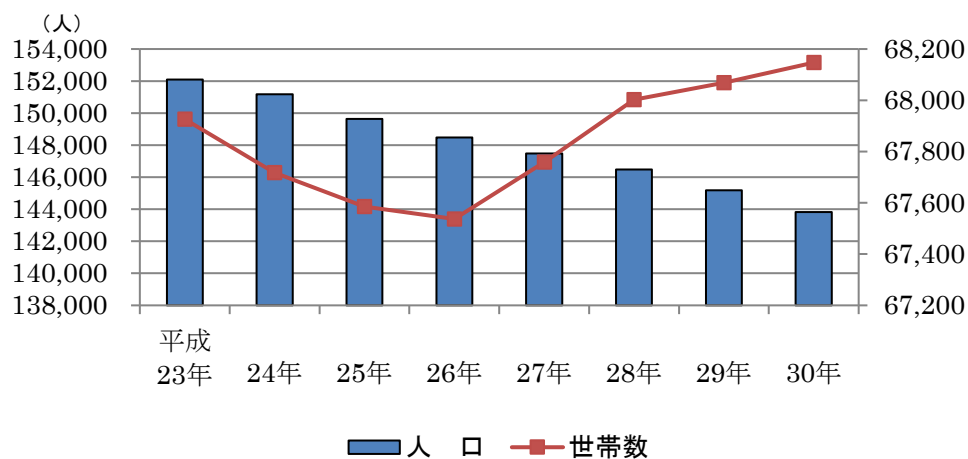
2) 中心市街地の人口・世帯数

市全体の人口が減少傾向にある中、本市の中心市街地人口は、平成23年が8,782人、平成30年12月末時点で8,855人と増減を繰り返しながら概ね横ばいの状況である。

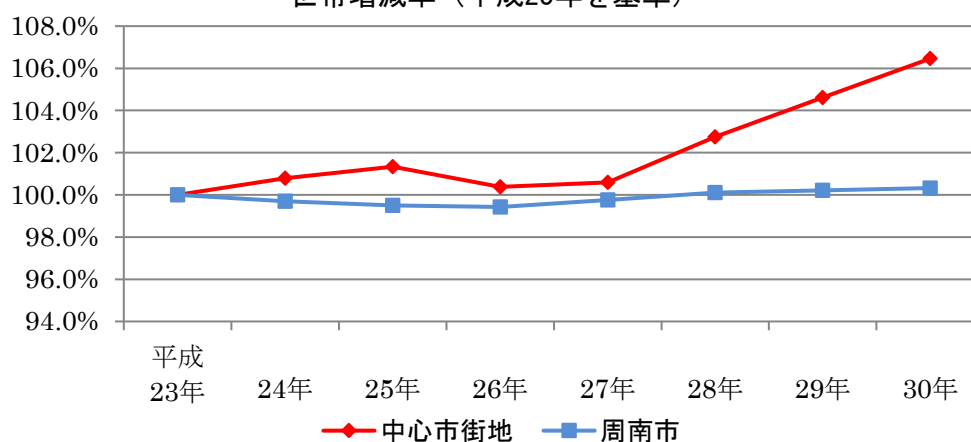
中心市街地世帯数は、人口と同様、平成23年以降は増減がありながら大きくは横ばいとなっている。平均世帯人員は、市全体と同様に緩やかに減少している。



周南市人口



世帯増減率 (平成23年を基準)



		平成 23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
中心市街地	人口 (人)	8,782	8,788	8,817	8,707	8,658	8,714	8,731	8,855
	人口増減率	100.0%	100.1%	100.4%	99.1%	98.6%	99.2%	99.4%	100.8%
	世帯数 (世帯)	4,550	4,586	4,611	4,567	4,577	4,675	4,760	4,844
	世帯増減率	100.0%	100.8%	101.3%	100.4%	100.6%	102.7%	104.6%	106.5%
	平均世帯人員 (人/世帯)	1.93	1.92	1.91	1.91	1.89	1.86	1.83	1.83
周南市	人口 (人)	152,087	151,168	149,632	148,470	147,482	146,475	145,188	143,827
	人口増減率	100.0%	99.4%	98.4%	97.6%	97.0%	96.3%	95.5%	94.6%
	世帯数 (世帯)	67,926	67,718	67,585	67,537	67,759	68,002	68,068	68,147
	世帯増減率	100.0%	99.7%	99.5%	99.4%	99.8%	100.1%	100.2%	100.3%
	平均世帯人員 (人/世帯)	2.24	2.23	2.21	2.20	2.18	2.15	2.13	2.11
	市全体の人口に対する 中心市街地人口の割合 (%)	5.77%	5.81%	5.89%	5.86%	5.87%	5.95%	6.01%	6.16%

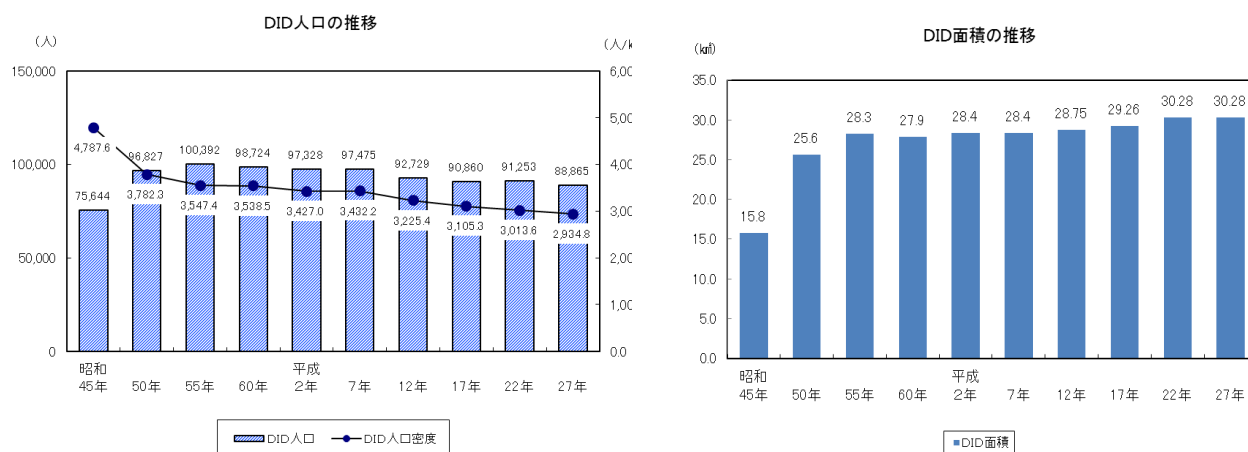
資料: 住民基本台帳 (各年12月末)

3) 人口集中地区（D I D地区）

平成27年時点において、D I D地区面積は30.28平方キロメートルで、市域全体の約5%程度となっている。D I D地区面積は、昭和55年以降大きな変化はないものの、平成12～22年にかけて若干拡大しており、未だに住宅地は拡大傾向にある。しかし、D I D地区内の人口は、全市人口と同様、年々減少しており、市街地の空洞化が徐々に進行している。

	昭和 45年	50年	55年	60年	平成 2年	7年	12年	17年	22年	27年
人口 (人)	146,312	158,208	166,318	167,302	164,594	161,562	157,383	152,387	149,487	144,842
面積 (km ²)	654.43	655.59	654.21	656.43	656.36	656.39	656.00	656.13	656.32	656.29
人口密度 (人/km ²)	223.6	241.3	254.2	254.9	250.8	246.1	239.9	232.3	227.8	220.7
D I D人口 (人)	75,644	96,827	100,392	98,724	97,328	97,475	92,729	90,860	91,253	88,865
D I D面積 (km ²)	15.8	25.6	28.3	27.9	28.4	28.4	28.75	29.26	30.28	30.28
D I D人口密度 (人/km ²)	4,787.6	3,782.3	3,547.4	3,538.5	3,427.0	3,432.2	3,225.4	3,105.3	3,013.6	2,934.8
D I D人口割合 (%)	51.7%	61.2%	60.4%	59.0%	59.1%	60.3%	58.9%	59.6%	61.0%	61.4%
D I D面積割合 (%)	2.4%	3.9%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	4.4%	4.5%	4.6%	4.6%

資料：国勢調査



中心市街地の人口等の現状

- 中心市街地人口は、各層において横ばいに推移している。
- 今後、本市の人口の3割以上が高齢者となる。
- D I D面積に変化はないが、地区内の世帯数は増加しており、依然として住宅地が郊外へ拡大している。

(4) 中心市街地の交通等

1) 交通

① 鉄道

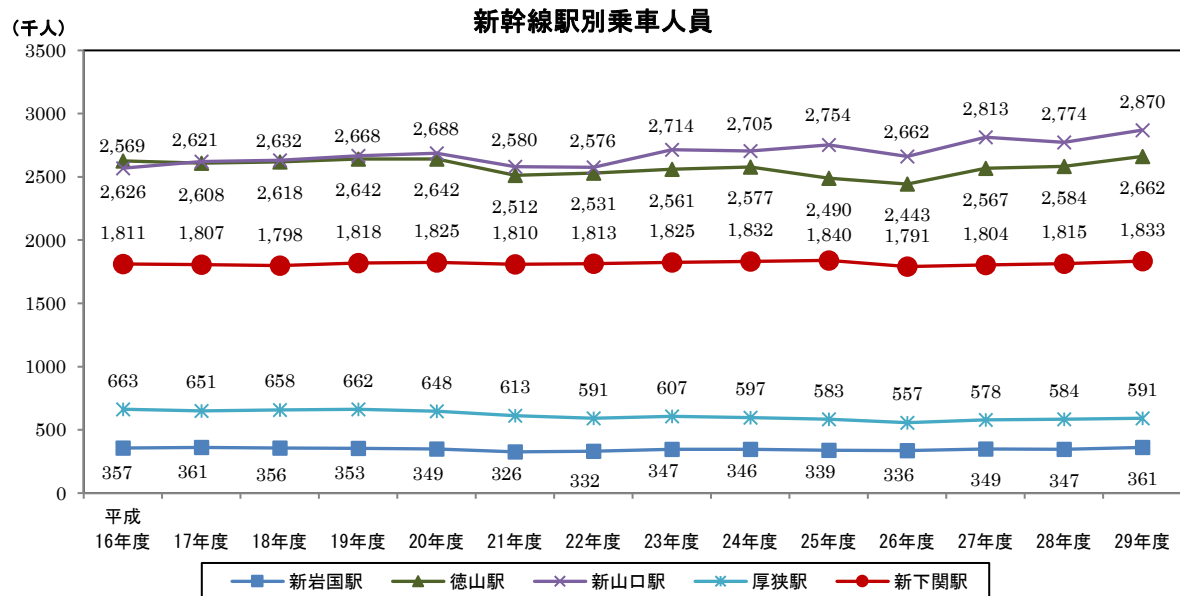
本市には、ＪＲ山陽新幹線のほか、在来線としてＪＲ山陽本線、岩徳線が通り、市内には徳山駅を含め８つの在来線の駅がある。

中心市街地に立地するＪＲ徳山駅は、ＪＲ山陽新幹線が停車し、東京、名古屋、大阪、広島、福岡などの大都市圏との交通アクセスが良く、新山口駅と並んで県内で最も利用者が多い駅となっている。市内の駅別乗車人員の推移をみると、徳山駅の利用者数は８駅の中で最も多く、平成２７年度からは増加している。

年度	平成 16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
新岩国駅	357	361	356	353	349	326	332	347	346	339	336	349	347	361
徳山駅	2,626	2,608	2,618	2,642	2,642	2,512	2,531	2,561	2,577	2,490	2,443	2,567	2,584	2,662
新山口駅	2,569	2,621	2,632	2,668	2,688	2,580	2,576	2,714	2,705	2,754	2,662	2,813	2,774	2,870
厚狭駅	663	651	658	662	648	613	591	607	597	583	557	578	584	591
新下関駅	1,811	1,807	1,798	1,818	1,825	1,810	1,813	1,825	1,832	1,840	1,791	1,804	1,815	1,833

※新岩国駅以外は在来線を含む。

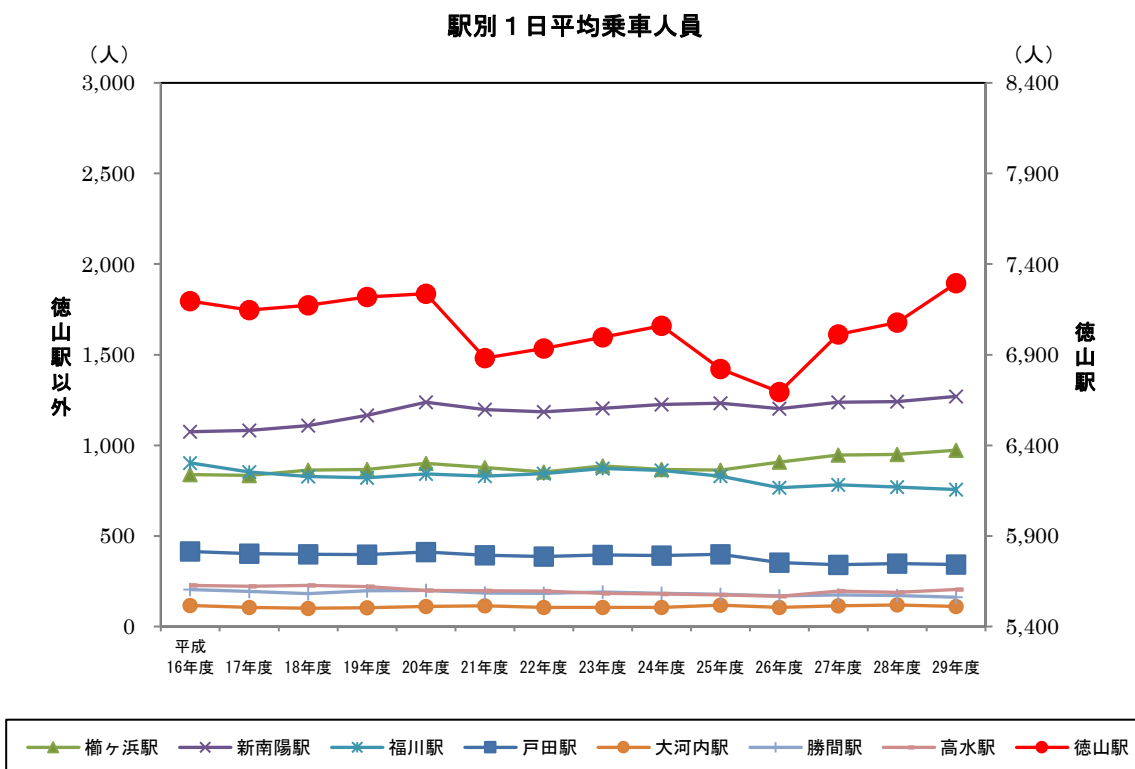
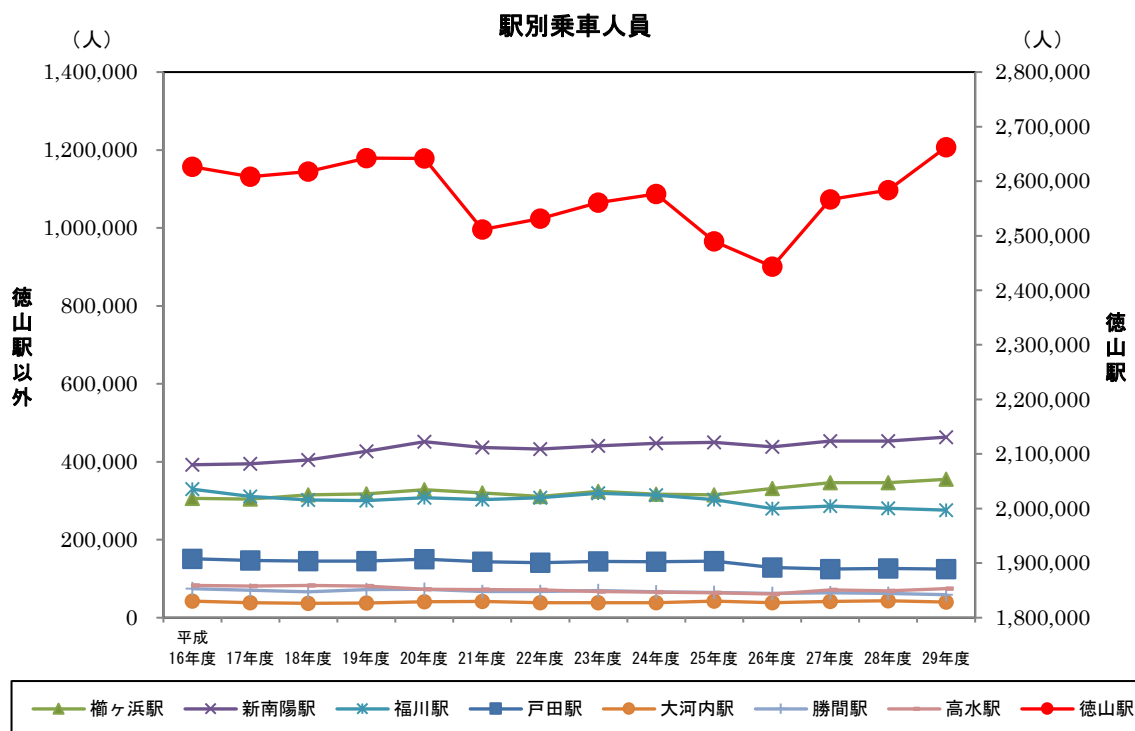
資料：山口県統計年鑑



(人)																
年度		平成 16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
山陽本線	柳ヶ浜駅	乗車人員	305,825	304,304	315,121	317,386	328,360	320,039	310,899	324,426	316,632	315,467	331,376	346,233	346,629	355,079
		1日平均	838	834	863	867	900	877	852	886	867	864	908	946	950	973
	徳山駅	乗車人員	2,626,289	2,608,163	2,617,884	2,642,115	2,641,566	2,511,525	2,531,255	2,560,853	2,576,771	2,489,756	2,443,451	2,566,719	2,583,545	2,662,383
		1日平均	7,195	7,146	7,172	7,219	7,237	6,881	6,935	6,997	7,060	6,821	6,694	7,013	7,078	7,294
	新南陽駅	乗車人員	392,403	394,925	404,754	426,883	451,480	436,740	432,438	440,792	447,392	449,836	438,617	453,082	452,842	463,405
		1日平均	1,075	1,082	1,109	1,166	1,237	1,197	1,185	1,204	1,226	1,232	1,202	1,238	1,241	1,270
	福川駅	乗車人員	329,720	310,870	302,142	300,556	307,507	302,721	307,838	319,004	314,654	302,973	279,960	286,085	280,542	276,016
		1日平均	903	852	828	821	842	829	843	872	862	830	767	782	769	756
	戸田駅	乗車人員	151,249	147,137	145,619	145,436	149,842	143,505	140,948	144,660	143,210	145,468	128,441	124,913	126,636	125,033
		1日平均	414	403	399	397	411	393	386	395	392	399	352	341	347	343
岩徳線	高水駅	乗車人員	82,892	80,884	82,709	80,950	72,664	72,149	71,543	66,866	65,224	64,011	60,774	71,401	68,541	74,344
		1日平均	227	222	227	221	199	198	196	183	179	175	167	195	188	204
	勝間駅	乗車人員	74,343	70,285	66,427	71,957	72,828	67,428	67,242	69,458	66,727	64,833	61,914	63,601	62,556	58,976
		1日平均	204	193	182	197	200	185	184	190	183	178	170	174	171	162
	大河内駅	乗車人員	42,335	38,317	36,872	37,772	40,669	42,039	38,225	38,791	38,538	42,931	38,604	41,956	43,482	40,344
		1日平均	116	105	101	103	111	115	105	106	106	118	106	115	119	111

※徳山駅は新幹線を含む。

資料：山口県統計年鑑



②道路

本市では、主要幹線道路として一般国道2号が市街地を横断するほか、同376号が東西方向に、同489号、315号、434号が南北方向にそれぞれ走って主要な骨格を形成し、これらを主要地方道、一般県道などが連絡する形で道路が配置されている。また、山陽自動車道が市街地に近接して東西に横断、中国自動車道が鹿野地域を縦断しており、市内には熊毛、徳山東、徳山西、鹿野の4つのインターチェンジが設置されている。

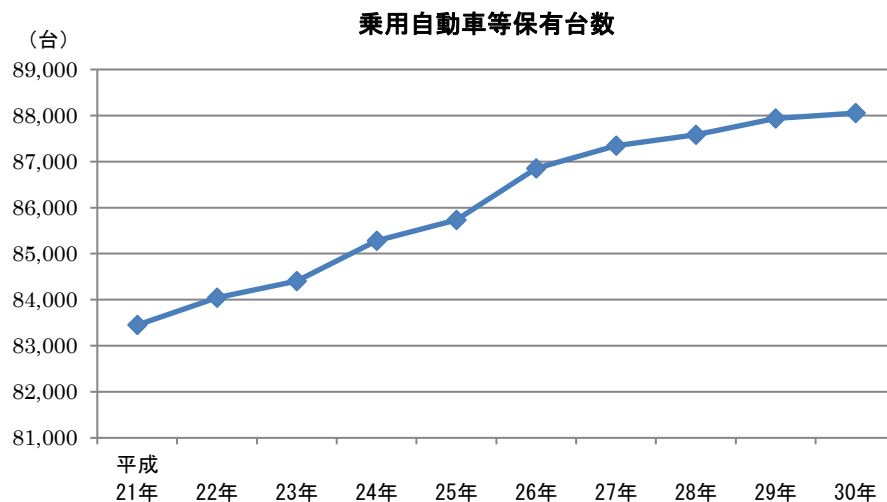
③バス

徳山駅を主要な起点として、防長交通株式会社の路線バスが、市内各所や周辺市を結ぶ路線網を形成しており、徳山駅前のバス停では、平日296便、土曜日270便、日曜祝日265便のバスが発着している（令和元年12月時点）。路線バスのルートとしては徳山駅～御幸通～岐山通から、それぞれ東西方向にルートが分岐している。

また、防長交通株式会社を中心に、徳山駅前を経由して東京方面、神戸・大阪・京都方面、広島方面、福岡方面をそれぞれ結ぶ高速バスが運行されている。東京方面行き、神戸・大阪・京都方面行きは上下各1本／日、広島方面行きは15本／日（徳山方面行きは14本／日）、福岡方面行きは上下各4本／日が発着している。

④自動車

本市の自動車等保有台数（貨物等を除く。）は、年々増加している。人口の推移を考慮すると、1人当たりの自動車保有台数は増えており、通勤、通学、買物等の日常生活における自動車の利用が増加していると推測される。



年次		平成 21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
乗用	普通	19,295	19,568	19,875	20,437	20,882	21,212	21,382	21,671	22,182	22,615
	小型	32,574	31,962	31,322	30,889	30,244	29,523	28,985	28,373	27,824	27,285
	小型二輪	1,605	1,678	1,698	1,705	1,728	1,791	1,808	1,879	1,903	1,904
軽自動車	乗用	27,860	28,690	29,361	30,164	30,780	32,222	33,065	33,566	33,957	34,196
	二輪	2,116	2,149	2,149	2,086	2,097	2,107	2,105	2,092	2,068	2,054
合計		83,450	84,047	84,405	85,281	85,731	86,855	87,345	87,581	87,934	88,054

※貨物等は含んでいない。

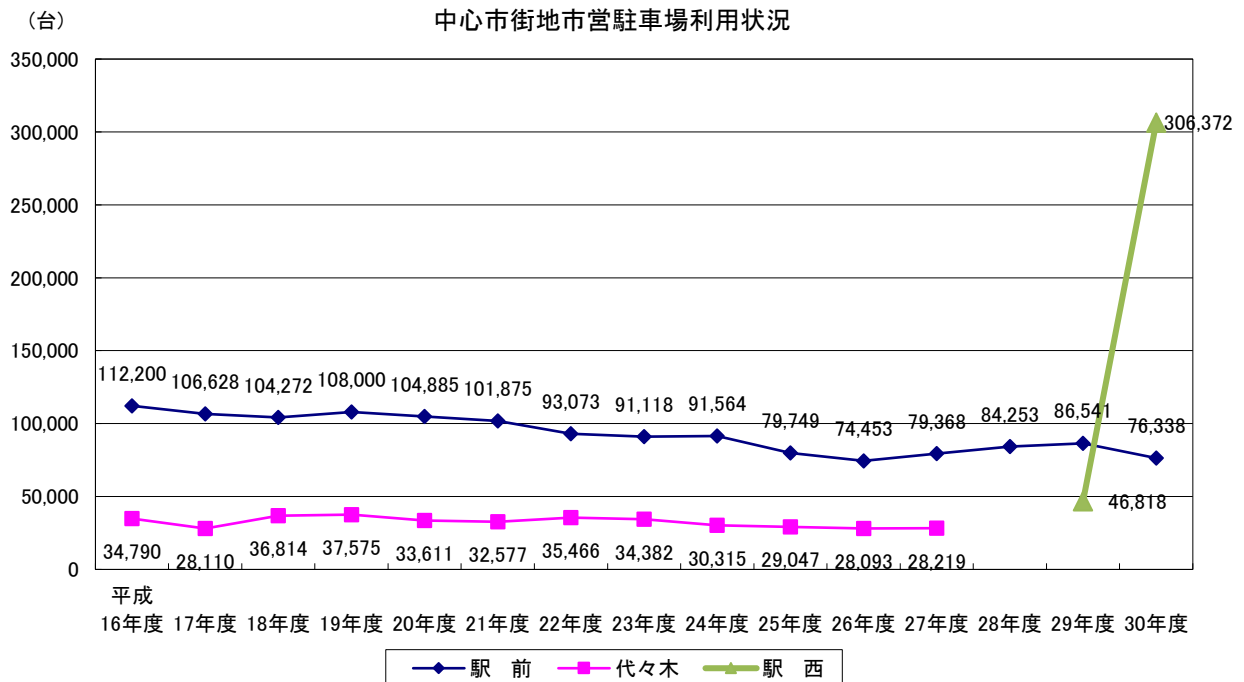
資料：山口県統計年鑑

⑤駐車場

中心市街地にある２か所の市営駐車場の駐車可能台数は、徳山駅前駐車場が１００台、徳山駅西駐車場が１２５台である。

その利用状況の推移をみると、平成３０年２月に供用開始となった徳山駅西駐車場平成３０年度利用者が３０６，３７２台／年となっている。

また、徳山駅前駐車場は減少傾向にあったが、平成２７年度から増加に転じており、平成２９年度は徳山駅前駐車場が８６，５４１台／年となったが、平成３０年２月に供用開始となった徳山駅西駐車場へ利用者が流れていったこともあり、平成３０年度は７６，３３８台／年となっている。



	平成 16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
駅前	112,200	106,628	104,272	108,000	104,885	101,875	93,073	91,118	91,564	79,749	74,453	79,368	84,253	86,541	76,338
代々木	34,790	28,110	36,814	37,575	33,611	32,577	35,466	34,382	30,315	29,047	28,093	28,219			
駅西														46,818	306,372

※代々木は平成28年度から休止。

※駅西の平成29年度は約2ヶ月分のみ(平成30年2月3日供用開始)。

2) 歩行者等通行量

歩行者等通行量調査の結果をみると、各調査地点で中心市街地の歩行者等通行量は大きく減少して平成5年と平成24年の各実績を比較すると、最大で平日71.6%減（調査地点⑨：9,554人→2,715人）、休日77.1%減（調査地点⑧：3,919人→895人）まで歩行者等通行量が減少していた。

しかしながら、前計画期間中、小規模複合商業施設「bloom&dream」のオープンや、和光ビルリノベーションがスタートした平成27年には、14地点（①～⑭）で平日は29,640人、休日22,270人となり、その後一旦減少したものの、徳山駅前図書館を核とする徳山駅前賑わい交流施設オープン後の平成30年には、14地点で平日28,512人、休日30,325人と前計画の成果が如実に表れる結果となっている。

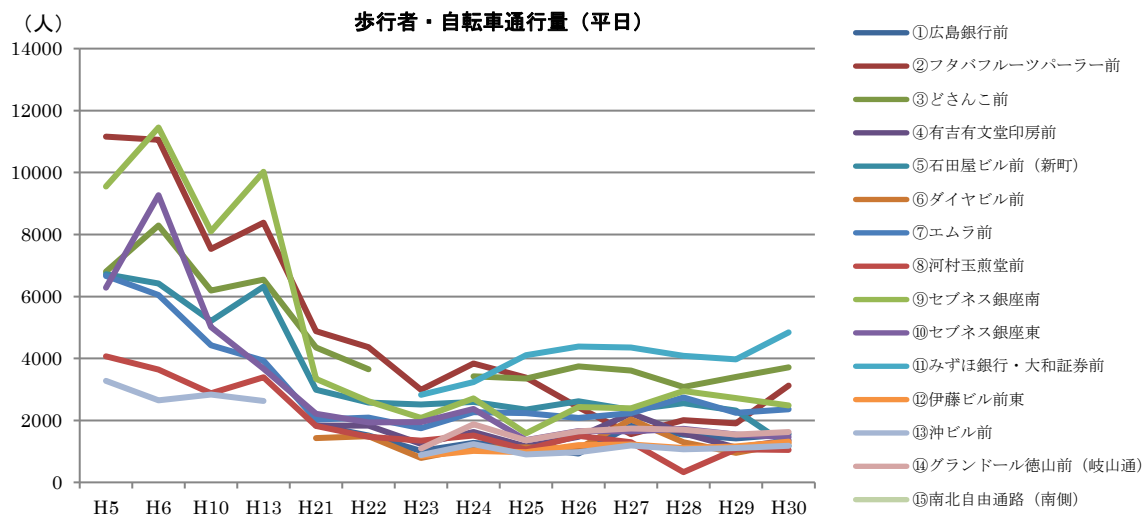
このことから、魅力ある店舗や施設があることが来街者の増加につながると言うことができ、今後はそれらを拠点とした回遊性を生み出し、中心市街地全体に賑わいを広げていく取組が重要となる。

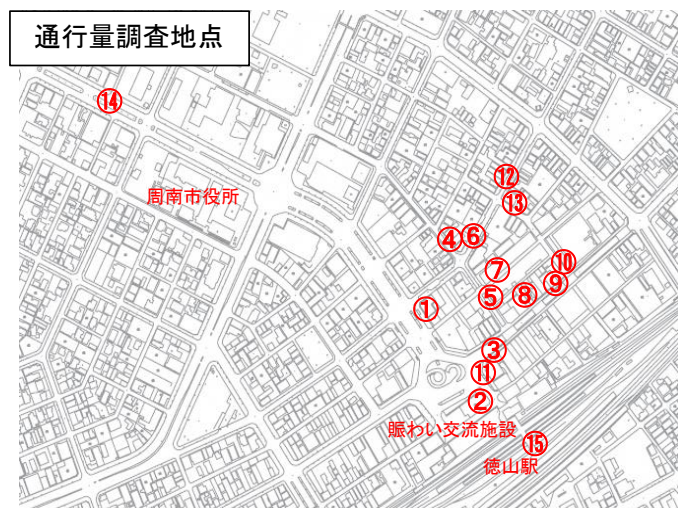
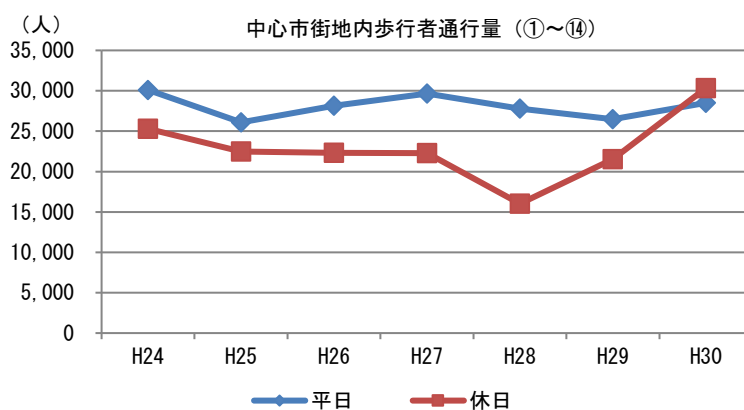
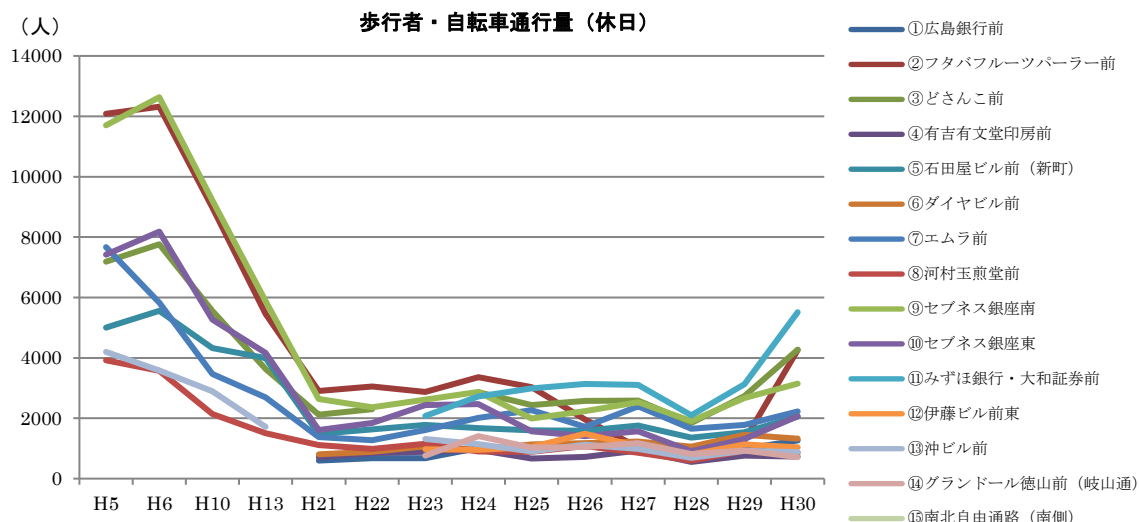
○ 歩行者・自転車通行量（平日10時～19時、単位：人）

調査地点	H5	H6	H10	H13	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
①広島銀行前					1,847	1,510	1,017	1,273	1,145	930	1,818	1,542	1,422	1,558
②フタバフルーツパーラー前	11,159	11,062	7,537	8,381	4,881	4,366	2,988	3,839	3,380	2,423	1,557	2,010	1,901	3,128
③どさんこ前	6,801	8,291	6,194	6,540	4,358	3,647		3,421	3,353	3,741	3,611	3,079	3,403	3,713
④有吉有文堂印房前					1,828	1,837	1,248	1,625	1,157	1,471	2,225	1,589	1,123	1,360
⑤石田屋ビル前（新町）	6,719	6,422	5,214	6,320	2,994	2,578	2,509	2,596	2,346	2,621	2,336	2,555	2,314	1,173
⑥ダイヤビル前					1,427	1,487	789	1,124	1,131	1,088	2,030	1,292	955	1,269
⑦エムラ前	6,664	6,051	4,423	3,931	2,026	2,088	1,748	2,270	2,236	2,081	2,231	2,746	2,244	2,362
⑧河村玉煎堂前	4,068	3,635	2,876	3,396	1,825	1,472	1,347	1,512	1,060	1,505	1,295	330	1,072	1,044
⑨セブネス銀座南	9,554	11,454	8,108	10,022	3,345	2,619	2,084	2,715	1,582	2,433	2,386	2,951	2,719	2,479
⑩セブネス銀座東	6,282	9,269	5,009	3,668	2,213	1,939	1,945	2,366	1,364	1,656	1,647	1,726	1,542	1,462
⑪みずほ銀行・大和証券前							2,826	3,239	4,105	4,382	4,355	4,087	3,971	4,841
⑫伊藤ビル前東							850	1,018	974	1,207	1,224	1,113	1,156	1,314
⑬沖ビル前	3,277	2,648	2,833	2,631			882	1,231	905	973	1,189	1,067	1,107	1,184
⑭グランドール徳山前（岐山通）							1,092	1,875	1,357	1,651	1,736	1,693	1,538	1,625
⑮南北自由通路（南側）														4,425
合計	54,524	58,832	42,194	44,889	26,744	23,543	21,325	30,104	26,095	28,162	29,640	27,780	26,467	32,937

○ 歩行者・自転車通行量速報値（休日10時～19時、単位：人）

調査地点	H5	H6	H10	H13	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
①広島銀行前					598	682	677	1,018	931	1,085	1,035	791	988	1,265
②フタバフルーツパーラー前	12,081	12,318	8,980	5,458	2,898	3,050	2,869	3,356	3,030	1,961	1,040	950	1,259	4,256
③どさんこ前	7,185	7,762	5,549	3,632	2,123	2,303		2,858	2,440	2,571	2,583	1,843	2,731	4,273
④有吉有文堂印房前					713	851	894	952	670	723	936	554	759	730
⑤石田屋ビル前（新町）	4,999	5,558	4,320	3,990	1,481	1,634	1,782	1,673	1,594	1,588	1,756	1,358	1,539	2,056
⑥ダイヤビル前					806	888	1,074	957	1,129	1,180	1,232	1,055	1,450	1,322
⑦エムラ前	7,668	5,827	3,466	2,694	1,377	1,272	1,606	2,008	2,266	1,720	2,399	1,657	1,775	2,223
⑧河村玉煎堂前	3,919	3,566	2,138	1,504	1,107	986	1,159	895	885	1,078	861	596	923	856
⑨セブネス銀座南	11,707	12,633	9,207	5,881	2,639	2,360	2,622	2,876	1,993	2,234	2,529	1,907	2,672	3,142
⑩セブネス銀座東	7,415	8,181	5,271	4,164	1,610	1,842	2,440	2,468	1,568	1,407	1,570	907	1,308	2,070
⑪みずほ銀行・大和証券前							2,075	2,728	2,993	3,136	3,102	2,098	3,127	5,511
⑫伊藤ビル前東							971	954	1,043	1,485	1,069	798	1,135	1,033
⑬沖ビル前	4,197	3,578	2,888	1,713			1,315	1,141	901	1,121	979	689	919	877
⑭グランドール徳山前（岐山通）							757	1,407	1,026	1,050	1,179	817	932	711
⑮南北自由通路（南側）														5,146
合計	59,171	59,423	41,819	29,036	15,352	15,868	20,241	25,291	22,469	22,339	22,270	16,020	21,517	35,471





中心市街地の交通等の現状

- 徳山駅は、鉄道の乗車人員が増加し、交通結節点としての拠点性が維持されている。
- 本市の自動車保有台数が増加するとともに、日常生活における自家用車の利用が常態化してきており、通勤や通学、買物等の生活交通として公共交通が利用されなくなっている。
- 中心市街地における歩行者等通行量が、徳山駅前賑わい交流施設のオープンにより大きく増加し、街なかの賑わい回復の兆しが見える。